山本 昭宏（Akihiro YAMAMOTO）
神戸市外国語大学准教授、メディア文化史
主な著書・論文：「戦後民主主義：現代日本を創った思想と文化」中公新書、2021年。
「近現代なぜ明治八——反戦の政法、鉄篭の思想」みずき書林、2020年（編著）

村上 陽子（Yoko MURAKAMI）
沖縄国際大学准教授、沖縄・近現代文学
主な著書・論文：「いのちの記憶を生きる身体——沖縄をたどる『やんくわ、ナヤキ』論」、「沖縄国際大学日本語日本文学研究」25(1)、2021年。「出来事の残響——軍服文学と沖縄文学」インパクト出版会、2015年。

福間 良明（Yoshiaki FUKUMA）
立命館大学産業社会学部教授、歴史社会学・メディア史
主な著書・論文：「勤労青年の戦歴文化史」岩波新書、2020年。
「戦後日本、記憶の力——「承認という挑戦」と帝国主義の政治学」作品社、2020年。

廣川 和花（Waka HIROKAWA）
専修大学文学部教授、日本近代医史
主な著書・論文：「ハンセン病者の病史——日本における近代化の中で」秋田光一、村尾幸平編「人間と健康の世界」ミネルヴァ書房、2020年。「近代日本におけるハンセン病史の世界」大阪大学出版会、2011年。

吉田 裕（Yutaka YOSHIDA）
一橋大学名誉教授／東京大空襲・戦災資料センター顧問、日本近代政治史
主な著書・論文：「日本の戦争霊」岩波現代文庫、2005年。「日本軍兵士」中公新書、2017年。
「兵士たちの戦後史」岩波現代文庫、2020年。

日時：2021年7月11日（火）
13時30分～17時
開催方法：オンライン
要事前登録：申込み締切り7月7日（水）

編者紹介

蘭 信三（Shinzo ARARAGI）
大和大学教授／上智大学名誉教授、歴史社会学・国際社会学
主な著書・論文：『戦争と性暴力の比較史へ向けて』岩波書店、2018年（共編著）。

小倉 康嗣（Yaotsugu OGURA）
立教大学教授、社会学・ライフストリー研究
主な著書・論文：『原爆をまわす人々と——広島平和記念公園八月六日のピュシャル・エスノグラフィー』新曜社、2018年（共編著）。

今野 日出晴（Hideharu KONNO）
岩手大学教授、歴史教育・日本近代史
主な著書・論文：『歴史学と歴史教育の構想』東京大学出版会、2008年。

主催：科学研究会研究部「東アジアのポストコロニーを聞き取る」（研究代表：蘭 信三）
共催：科学研究会研究部、日本オーストラリア研究会、科学研究所先端研究推進機構「もの、語り、アート、宗教にみるトラウマ体験の共有と機関」（研究代表：田中 慎一）
みずき書林：https://www.mizukibunkin.com/